

産セ第 108 - 53982 号

平成 年 月 日

28.1.15

分 析 、 試 験 等 成 績 書

フリーダム株式会社 様

〒243-0435 海老名市下今泉 705-1

神奈川県産業技術センター所長



平成28年 1月14日に依頼のありました分析、試験等の結果は次のとおりです。

依 頼 の 種 別 : ガスクロマトグラフ分析

依頼書記載の品名 : ENEL-02

結 果 : 別紙のとおり

以下次頁

(注) 依頼試験による試験結果をもとにカタログやインターネット等を利用して当センターの名義を使用する場合は、事前に掲載物ごとに名義使用の承認を受ける必要があります。

「ENEL-02」から発生するガスの水素定量結果



水素濃度 = 1.4 %

(体積%)

なお、定量値は ENEL-02 の始動 (ガス発生) 開始約 20 分後以降、排出流通ガスの一定量 (2mL) を分析した結果を用いて算出した。

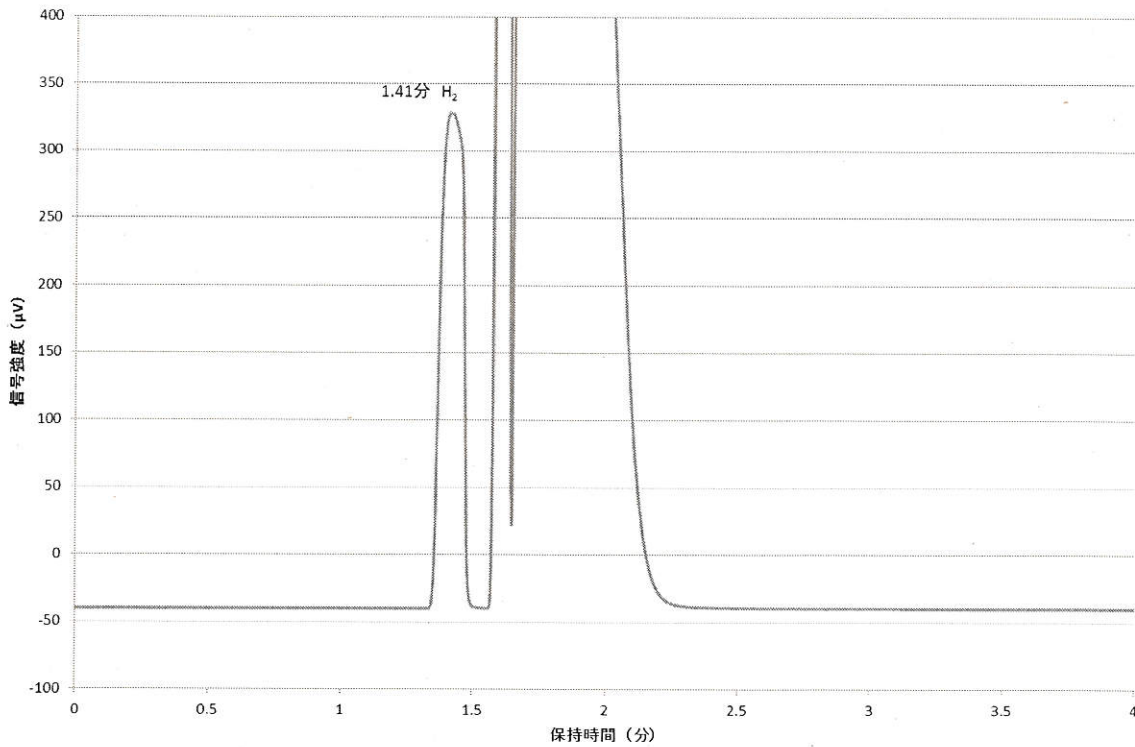
以下次頁

【ガスクロマトグラフ分析の結果】

(ガスクロマトグラフ分析条件)

装置	Hewlett Packard(現 Agilent) HP6890 型
分離カラム	HP-MOLESIEVE 長さ 15m 内径 0.53mm
カラム温度	35°C(4.0 分間保持)
検出器	熱伝導度検出器(TCD) 250°C
移動相ガス	アルゴン
試料注入量	2mL (自動バルブ注入)
注入口温度	250°C
ガス発生源	
との接続	内径約 3mm フレキシブルビニルチューブ 100cm + 内径 1mm フッ素樹脂チューブ 30cm

[ガスクロマトグラム]



以下次頁

[分析レポート]

ピーク No.	保持時間	面積(25uV*s)	面積(%)	成分名
1	1.41	2155	4.52	水素
2	1.610	11375	23.87	(酸素)
3	1.664	34119	71.60	(窒素)
Total		47649	100.00	

(注)

標準ガス測定で求めた水素 (99.99 体積%) の相対感度が試料測定濃度域にわたって一定であるとみなし、絶対検量線法 (JIS K0114 参照) により濃度 (体積%) を算出した。

以下余白

